



# 福知山市2040市民会議

## 「廃校Re活用プロジェクト」

～行革甲子園2024 グランプリ受賞～



2025.12.21  
福知山市資産活用課



# 廃校活用の現状と成果

福知山市では、平成24年度に27あった小学校から9年の短期間で14校に。

→ その結果として16の廃校が発生。

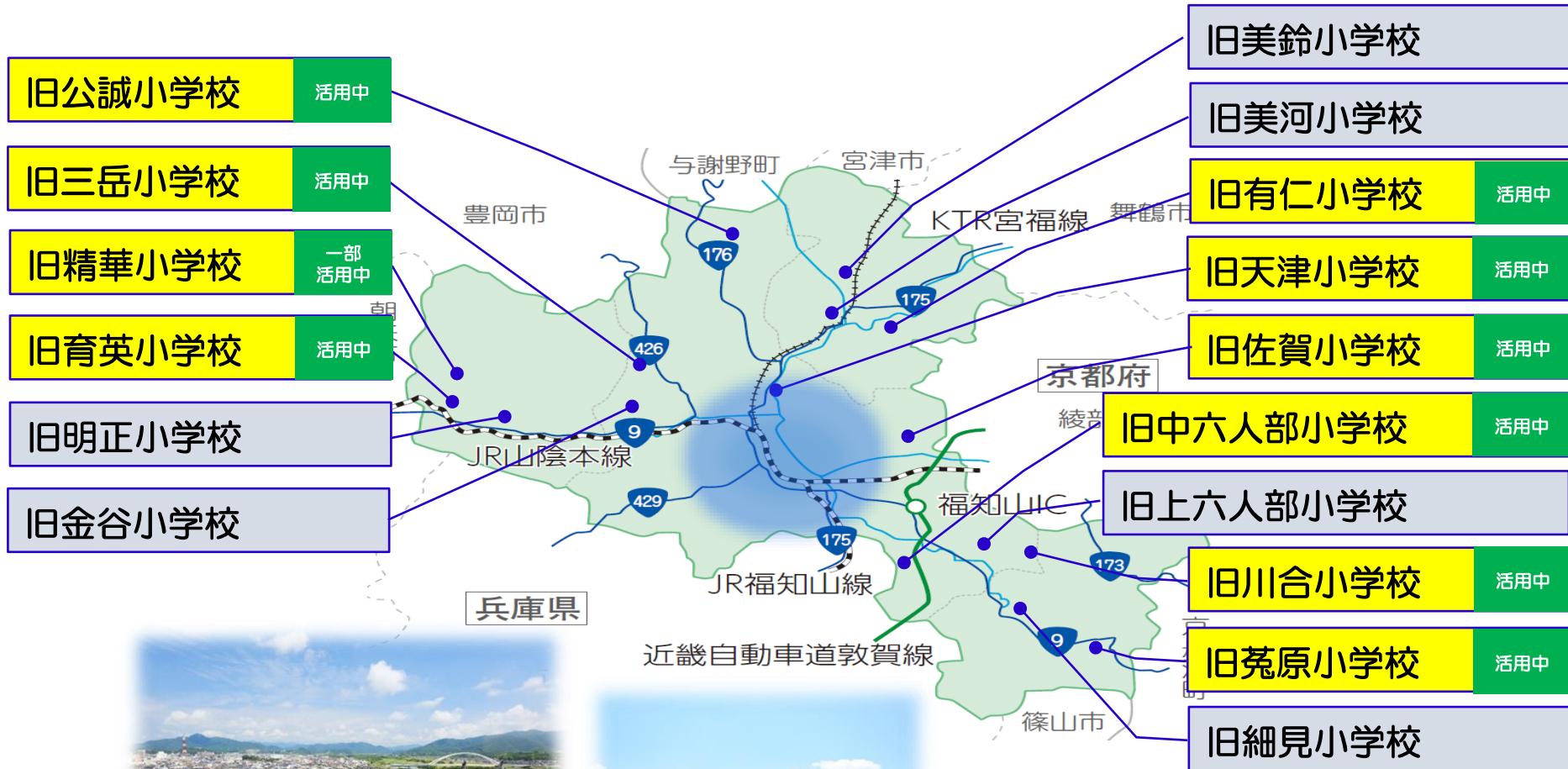
現在は、行政利用2校、民間活用8校の計10校(62.5%)で活用を実現！

No.	学校名	活用事業	オープン	No.	学校名	活用事業	オープン
1	旧明正小	サウンディング調査実施予定		9	旧細見小	庁内検討中	
2	旧育英小	文化財保存庫	R4.9～	10	旧佐賀小	店舗兼工場	R3.10～
3	旧精華小	グループホーム	R2.4～	11	旧天津小	スポーツ施設	R4.8～
4	旧三岳小	複合化施設	R4.4～	12	旧金谷小	活用予定なし	
5	旧川合小	サブリース事業	R4.10～	13	旧公誠小	キャンプ、スケボーパーク	R4.7～
6	旧上六人部小	公募に向けて準備		14	旧美河小	活用予定なし	
7	旧中六人部小	イチゴ農園等	R2.10～	15	旧美鈴小	公募中	
8	旧菟原小	着物配送センター	R4.10～	16	旧有仁小	ハウス栽培、加工施設	R6.8～

約1億5,000万円（売却：約7,000万、貸付：約8,000万）の歳入増  
年間約1,000万円の維持管理費等の歳出減のみならず、  
新たな雇用や売却による固定資産税収入増等



# 市内廃校分布図



# 廃校活用の方針

活用の  
基本



民間による廃校活用＝「持続可能で発展性のある廃校活用」

## 福知山市の廃校活用方針

地域のシンボル・レガシー

1. 地域の意向を重視した活用とします。

民間ニーズを尊重

2. 賃貸・売却とも可とします。ただし、上記1.に反する場合を除きます。

契約の複雑化を避け、窓口を一本化

3. 市と契約締結する事業者は1者とします。

スケールメリットを活かし、余剰地を発生させない

4. 廃校全体の活用又は管理とします。一部のみは不可とします。

スピード化とコスト軽減

5. 廃校は現状有姿とします。

高額のコストがかかる必要性や使いづらさを考慮

6. 廃校の賃貸の場合は、建物は無償とし、土地は有償とします。

地域にベストな事業者を選定するため、早い順でなく

7. 事業者は、期間を設けて公募します。



# 廃校活用の取組

活用の  
取組



## 金融機関との公民連携促進に関する連携協定の締結（令和2年8月4日）

廃校などの大規模遊休資産等の利活用促進に向け、株式会社京都銀行・京都北都信用金庫と公民連携促進に関する連携協定を締結。

これにより、関係機関の協力関係をより発展させるとともに、公民連携促進に関する継続的な連携を図り、地域資源を有効に活用し、地域の持続的な成長・活性化の実現を目指す。



<連携協定締結式>

# 廃校活用の取組

活用の  
取組



## 廃校マッチングバスツアー

「公民連携促進に関する協定」に基づく取り組みの一環として「福知山『廃校』マッチングバスツアー」を開催。ツアーでは、実際に企業が活用している廃校や、受け入れが可能な廃校を巡り、進出を検討する企業と福知山市との“マッチング”を図る。

### ＜令和2年度バスツアー＞



参加者：39名（令和2年10月23日）  
40名（令和2年11月20日）

### ＜令和3年度バスツアー＞

参加者：31名（令和3年7月16日）



# 廃校活用事例

活用の  
様子



旧 中六人部小学校

- ・いちご農園、カフェ



旧 佐賀小学校

- ・和洋菓子店舗兼工場



# 廃校活用事例

活用の  
様子



旧 公誠小学校・キャンプ



旧 川合小学校  
・キャンプ等施設



旧 三岳小学校  
・複合化、集約化施設



# 廃校活用事例

活用の  
様子



旧 天津小学校  
・サッカー等スポーツ施設



旧 菅原小学校  
・配送センター



旧 精華小学校  
・グループホーム



# 地域の声

活用の  
様子



中六人部地域づくり協議会 会長  
北山 哲史 さん

外出の手土産には、ムトベース（旧中六人部小）のイチゴをパックで買って行く。  
「うちの地元で作っているイチゴや」と言ったら、すごく喜んでくれる。

学校施設を活用した習い事体験教室や  
クラフトビールの原料となるホップ<sup>（大麦）</sup>  
の地元での生産をはじめとして  
今後もムトベースとの連携を更に発展させ、  
関係人口の増加等、  
中六人部の地域づくりを進めていきたい。



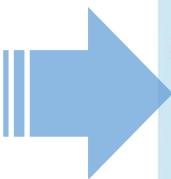
佐賀地区計画策定委員会 委員長  
松本 卓治 さん

里山ファクトリー（旧佐賀小）の事業をきっかけに、集客施設としての  
単なる賑わいづくりだけでなく、移住・定住を促進するために地域住民  
が自ら地域の未来を考える「地区計画」の策定につながった。

# 福知山の廃校が万博に

大阪・  
関西万博 

旧細見小学校中出分校が、大阪市夢洲で開催される2025大阪・関西万博のシグネチャーパビリオン「いのちのあかし」として生まれ変わりました。



現在の万博パンフレット【抜粋】



テーマ 「いのちを守る」  
**Dialogue Theater  
- いのちのあかし -**

人はそれぞれの違いから、「分断」をうむ。しかし、人は心を持ち、「対話」ができる生き物である。お互いを対話によって認めあい、自分が変わることで未来の世界も変わる。森をモチーフとしたシアターで、心の対話を実施する。



河瀬 直美  
映画作家